



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第135号 2013年6月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成25年5月30日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## 「じえじえじえい」

ジェイ.H.モーガンの設計による建物「ベリック・ホール」「山手111番館」を含む山手西洋館を見学するツアー「百聞は一見に如かず」と題した第17回「すまい造り工房」は皆様のご協力により無事に開催することができました。関東学院大学教授水沼淑子様のご解説を伺いながら、異国情緒が漂う山手地区の七つの西洋館を訪れ、時を重ねても色あせないデザイン、歴史と景観を配慮した街並み、それらを後世に伝えようという取り組み、「快適な暮らし」とはいったい何かということについてご一緒に考えました。



ベリック・ホールでの見学風景



## その木、どこの木？

スギ、ヒノキなどの地域材を利用した木造住宅の新築・増築や内外装の木質化などに対してポイントが発行される制度「木材利用エコポイント事業」が林野庁で実施されます。以前に国土交通省で実施された「住宅エコポイント」の林野庁バージョンです。国産材などの利用を推進し、森林の適正な整備・保全、循環型社会を形成することが主な目的です。認定を受けた木材を使用した木造住宅の新築・増築・購入に30万ポイント（1ポイント＝1円）、内外装の木質化に30万ポイントがそれぞれ与えられ、地域の農林水産品や商品券に交換することができます。

（詳細は次号にて特集させていただきます）



## ざっくばらん 雑句芭欄

正直者は  
ぼかすを  
だからと  
いうも  
うそばかり  
通らない  
世の中  
単純じゃ  
ないんだよ  
みつを

2013年は、2012年に引き続き、相田みつを氏の詩を取り上げます。書の道で迷い苦しむ日々の中で、仏像との対話から生まれた言葉の数々を集めた「かんのん讃歌」を中心にお届けします。



（相田みつを「かんのん讃歌」より抜粋）

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next50**

平成24年のリフォーム工事以来、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、介護保険制度を利用した住宅改修工事です。誰の助けを借りることなく、ひとりでトイレを利用できるように、アプローチを含めて、障害となるものをすべて排除しました。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

トイレ内の手すりは実際に立ち会っていただき、最適な位置に設置しました。

「施設のトイレと同様に使いやすく、不便さを感じることなく、ひとりで利用できます。」というご感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォアー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



建具は床に敷居レールが不要になるバリアフリーに最適な上吊りタイプの引戸を採用し、引手は握りやすい手すりタイプとし、有効開口を900mmとり、車イスなどによるアプローチが楽になるように配慮した

クイズ 問 眩只和  
勝手に MEWLAND検定

2013年は三方を海に囲まれた自然豊かな三浦半島（MEWLAND）に関する問題を20問設問します。成績優秀者にはMEWLAND検定合格者として勝手に認定します。

（答えは裏面に記載しています。）

（問題9）横須賀製鉄所の建設を指導したフランソワ・レオンス・ヴェルニーの功績を称え、かつて臨海公園と呼ばれた公園が整備され、フランスの庭園様式を採り入れた公園・ヴェルニー公園が誕生しました。この公園内にはないものは次のどれか？

- (A) スチームハンマー
- (イ) 逸見波止場衛門
- (ウ) 芥川龍之介の文学碑
- (エ) 正岡子規の文学碑



## 「元始、女性は太陽であった」〈2〉（全三話）

江戸時代から続く浦賀の老舗書店、金文堂信濃屋書店の七代目にあたり、郷土史家として活躍されている山本詔一氏に横須賀にゆかりのある、まだあまり知られていない偉人を取り上げていただきました。（第二話）

作家の芥川龍之介が、横須賀の汐入に間借りをし、海軍機関学校の英語の教師をしていたことはよく知られている。この時に親しくしていた人の一人に岩淵百合子がいる。

岩淵百合子は明治十八年、小田原藩土井沢巻次郎・ツネ夫妻の娘タケとして生まれた。女学生になるころからペンネーム「百合子」として与謝野鉄幹・晶子が起こした「新詩社」の機関誌「明星」に短歌や詩を送っている。

その百合子がなぜ横須賀にいいのか、それは岩淵陸奥丸という十四歳年の差のある産婦人科の開業医と結婚をしたからであった。結婚が十代の終わりごろであったことは、明治三十七年には長男、四十五年には長女が誕生していることでわかる。

結婚をし、母になっても創作活動は続けており、明治四十三年ごろには、横須賀の日刊新聞の相模中央新聞や公正新聞の選者になり、さらにアララギ派の歌人伊藤青暮らと歌誌「白星」を創刊し、当時の横須賀歌壇の中心的な存在となっていた。

このころに自由で闊達な環境と夫・岩淵の交際上手などが相俟って、岩淵の家はちょっとした文学サロンのようになっており、芥川をはじめ吉井勇、久米正雄、大仏次郎などが出入りしていたことがわかっている。

百合子は、歌や詩の世界だけでは満足せず、近代女性解放運動を展開した「青鞥社」に入り活動をしている。百合子が「元始、女性は太陽であった」という青鞥社の中心的な人物であった平塚雷鳥の一文に接して「青鞥」の運動に入っていった背景には、「新詩社」時代から交流のあった与謝野晶子の影響があったものと思われる。

青鞥社の運動は、家制度に縛られた従属的な女性に、新しい自覚を促し、自由意思に基づいたヒューマニズムを生活規範にしようとした運動であったが、この運動に対する当時の社会の眼は冷たく「新しい女」と批判的に呼び、批難する人が圧倒的に多かった。しかし、こうした状況下でも夫・岩淵陸奥丸の理解にも救われ、百合子は極めて進歩的、革新的に生き抜いてきた。

昭和三十四年に七十四歳で波乱に満ちた人生にピリオドをうった。（最終話に続く）

（横須賀開国史研究会 会長 山本詔一）



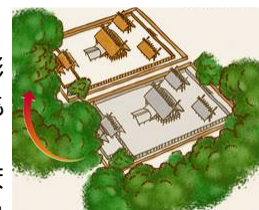
汐入にある  
ヴェルニー公園

勝手にMEWLAND検定の答え（問題9）(ウ)

## 常若～式年遷宮～

伊勢神宮には、常に新しくありつづける「常若（とこわか）」という思想があります。

伊勢神宮には、内宮・外宮ともに東西に同じ広さの敷地があり、20年に一度、同じ形の社殿に造り替えられています。また、御装束神宝と呼ばれる神々の調度品や衣装などもすべて新調され、御神体が新しい神殿に遷されます。この日本最大の祭事「式年遷宮」は、8年をかけて30もの祭りや行事が重ねて行われます。690年に持統天皇の時代に始まり、戦国時代に一時中断されていた時期もありましたが、建物の様式や装束の色形、祭典の形式など、すべて古式のままだに1300年に亘り受け継がれてきました。65棟に及ぶ社殿を新たに造営するには、10,000本以上の御用材が必要とされ、大きなもので長さ10メートル樹齢400年以上のヒノキの巨木が使われます。御用材を伐り出す山は、御杣山（みそまやま）と呼ばれ、内宮の背後にそびえる神路山、外宮のある高倉山、設楽山（愛知県）、木曾（長野県）などから調達されてきましたが、良材を確保することが困難になってきたため、1923年から200年計画で神宮内での植林が始まりました。この宮域材と呼ばれる御用材は、前回の式年遷宮で初めて使用されました。現在はまだ2割程度ですが、いずれはすべてこの宮域材で賄う計画です。第62回式年遷宮がいよいよクライマックスを迎えます。



伊勢神宮の式年遷宮

### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2013」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索